



未来のものづくりと
地方のDXを支える

高等専門学校を設置への支援

- Society 5.0 を見据えた工業系の高度人材を育成する高等専門学校は、日本の産業の競争力強化のために重要であり、地方における設置への支援を図られたい。

【提案・要望先】文部科学省

1. 提案・要望内容

(1) 地方が設置する令和の時代の高等専門学校に係る支援

- 未来のものづくりと地方のDXを支える高等専門学校の設置に係る財政支援
- 特に、現在国で検討されている「成長分野をけん引する大学・高専の機能強化に向けた継続的支援策の創設」の実現

(2) (仮称) 滋賀県立高等専門学校の設置に向けた支援

- 教員確保、カリキュラム検討等に関する専門的な助言など、令和の時代の(仮称) 滋賀県立高等専門学校の設置に向けた支援

2. 提案・要望の理由

- 日本が将来にわたり競争力のある力強い産業を創出し、今後も持続的に発展していくためには、多様な学びの選択肢により若者の技術者への夢を育むとともに、地域や世界の社会的課題を解決する起業家・イノベーター、AIやデータを活用することができる実践型人材など、高度人材の育成が不可欠である。
- 中でも、高等専門学校の実践を伴った技術教育は、既に企業からも高く評価されているが、Society5.0の実現やDXを含め、日本の産業競争力の再強化を図る令和の時代にこそ、新たな学びのスタイルとともに更なる価値が見出されると考える。
- このため、第二次産業の割合が48.9%（県内総生産構成比）と全国有数の内陸工業県である本県の特性を生かし、20年先を見据えた未来のものづくりを志すとともに、新たな技術を地域に実装し、地域の持続可能な豊かさに貢献できる人材を滋賀から生み出すべく、(仮称) 滋賀県立高等専門学校の設置に向けた準備を進めているところであり、これにかかる技術的、財政的な支援をお願いしたい。

(本県の状況と課題)

【「令和の時代の滋賀の高専」にかかる構想の策定】

- 県立高専では、情報技術をベースに、学生が様々な学びを自由に掛け算し、技術を応用する力も伸ばすことで、変化の激しい社会を生き抜く力を磨く。新たな学びのスタイルを実現するための教員確保やカリキュラム検討に関する助言等の支援が必要。
- 令和4年3月に策定した「構想骨子」では、施設整備費約100億円、運営費の収支差額年間約7億円が必要と試算。



「令和の時代の滋賀の高専」構想骨子(令和4年3月)より

【県立高等専門学校設置場所の決定】

- 令和4年9月県議会において、(仮称)滋賀県立高等専門学校の設置場所を、野洲市市三宅の県有地・国有地(約15万㎡)とする旨公表

